

一を設けることで、情報量を増やすことも考えられるのではないか。

2) 情報の整備・提供について

・政府のウェブサイトの多言語化

中国の環境保護部と韓国の環境部のウェブサイトは、自国語と英語のみで、英語、フランス語、韓国語、中国語と多言語対応をしているのは、日本の環境省のウェブサイトのみ。とはいっても、多言語化された情報は少ない。

NGO や市民にとって、基本的な環境政策や環境データなどの情報については、環境省(部)のウェブサイトが果たす役割は大きいので、更なる多言語化が望まれる。

(例) 国際環境協力に関する中国語情報（環境省ウェブサイトより）

国际环境合作

许多发展中国家，由于人口增加及向城市集中，以及工业化等，引起了大气污染、水质污浊、卫生环境恶化及自然环境破坏。我国将充分发挥在环保对策方面的经验及技术，参与发展中国家等的环保合作。

- ・以可持续开发为目标的国际环境合作的网页（英文）

日中韩三国环境部长会议（TEMM）

日本、中国和韩国三国为了对地区内乃至全球规模的环境问题直接交换意见，以强化合作，自 1999 年以来每年都举行三国环境部长会议。

- ・日中韩三国环境部长会议（TEMM）的网页（英文）

環境基準のページがつくられているが、肝心の基準値は日本語と英語のみとなっているので、日本で暮らす中国や韓国の市民も少なくないことからも、こうした情報は積極的に多言語化して発信する必要があるのではないか。

日中韓環境大臣会合（TEMM）のウェブサイトも英語のみである。日中韓はいずれも英語を公用語としているわけではないので、TEMM ウェブサイトに 3 言語を追加することは不可欠ではないか。

・過去情報の蓄積と多言語化

現在、中国では水汚染に起因する“ガン村”の多発が知られている。かつての日本が経験した四大公害をはじめとする環境問題への取り組みの経験は、アジア各国で現在発生、もしくは発生すると思われる環境問題にとって貴重な情報である。

特に、インターネット普及以前の環境情報を整備・蓄積していくことは大変重要である。さらに、こうした過去の情報は、文字情報のみならず DVD などの映像資料に編集し、中国語などの外国語に翻訳することでより多くの人に活用され、環境汚染の低減に役立つと考える。

記録されていない取り組みの中には、現代に通じるもののが多々ある。最近の事例や人物

にスポットを当てるだけでなく、先例を掘り起こし、再評価することで情報の一体性、広がりもできる。

- ・海外の市民向けフォーラムの開催

本当に伝えたい情報を伝えるためには、実際に顔を突き合わせてのコミュニケーションや現場を実際に訪れて見聞きすることが不可欠である。

一時的な情報の伝達範囲は少なくなるが、海外でもしくは海外からのゲストを招いてのフォーラムの開催なども有効な情報発信手法ではないか。

東アジア環境情報発伝所では、2008年10月11～13日に第4回東アジア環境市民会議を開催し、中国で水の汚染に取り組む草の根環境NGOスタッフを新潟に招き、新潟水俣病の経験を伝える予定。

- ・NGOと協働でのメディア向け情報発信

マスメディアの報道でちょっとした誤りがあると、どんどんミスリードされていく可能性が高まっている。

政府とNGOとで意見が対立する部分もあるだろうが、マスメディアに正しい情報を伝えてもらうためにも、共同でのメディア向け講座なども考えられるのではないか。

- ・海外向けレポートに第三者の目を

政府が発行する海外向けレポートには、企業のCSRレポートのように、NGOなどの第三者の意見を付すことで、レポートの情報の信用性を高めることができるのではないか。

- ・インターネットの特性の活用を

インターネットはリンクで既存のウェブサイトの情報を簡単に参照できるのが特徴である。見やすさは必要だが、ムリに整備するのではなく、既存の情報（先行団体のホームページ等）をそのままリンク集形式で網羅するだけでも十分と思われる。ブログ情報を取り込むならRSSを付け足すだけで済む。（ある程度のフィルタは必要だが、情報リスクを負う覚悟があるなら、加工不要。）また、検索にかかりやすいページづくりも重要。

NGOと行政とのパートナーシップによる環境情報の 収集、整備、提供と国際連携の展開 ～日中韓環境情報共有事業の経験から～



東アジア環境情報発伝所
廣瀬 稔也

1. 日中韓環境情報共有事業について



1-1. 事業開始の背景

・同じ環境問題に直面するアジアの人びと

広域の課題



地域の課題



1-1. 事業開始の背景

・環境協力の必要性

・相互の環境情報の不在

・日中韓の環境NGOの状況